エコアクション21

環境経営レポート

対象期間

令和元年８月～令和２年７月

（**2019** 年）　　（**2020** 年）

株式会社 柏原鐵工所

令和２年12月１日 作成

目　　次

１　社長挨拶 …… 2

２　事業活動の概要 …… 3

　会社概要

　環境管理に関する組織図

　環境管理における活動体制

３　環境方針 …… 5

４　活動指針 …… 5

５　活動目標（令和元年度） …… 6

　目標設定項目

６　環境活動計画 …… 8

７　今年度の目標、実績、評価（令和元年度） …… 9

８　その他の環境活動 …… 10

９　今年度の活動評価（令和元年度） …… 12

１０　該当環境関連法規、訴訟の有無 …… 13

１１　地震、火災等による緊急時対応マニュアル …… 14

１２　代表者による評価 …… 15

１３　来年度に向けて …… 16

社長の挨拶

今年度は今までになく困難な出来事が起こりました。良いこともありましたが、それを何倍も上回る災難が待ち受けていました。令和元年９月ラグビー・ワールドカップ日本大会が開催され、日本チームは大健闘しベスト８に入り日本中が盛り上がりました。経済も９月までは堅調でした。年が変った令和２年１月、中国・武漢市で新型コロナウイルスの流行が始まり、全世界に広まっていった。これによって人々の移動や物の移動が止まり、経済もリーマンショック以上の打撃を受けました。ウイルスの拡散を助長するとして東京オリンピック・パラリンピック大会の１年延期が決定され、消費税１０％増税もあり、アベノミクスの経済政策は一気に吹き飛んでしまいました。

建設業界も例外なくこの影響を受け、現場では人の移動が出来なくなり、中国等からの建設資材が入ってこなくなったりで仕事が止まってしまいました。弊社でも外国人の研修生を受け入れる予定でしたがこれも出来なくなりました。政府による持続化給付金の支給で何とか持ち堪えていますが、綱渡り状態が続いています。

ｅａ２１は今年度よりガイドラインが『２０１７年版』になります。電力や水などの使用量に加え料金も把握するようになり、廃棄物処理に掛かる処理費用も統計を取らなければなりません。当然“持続可能な循環型社会づくり”を目標にしていますが、最近出てきた言葉に【SDGs】という言葉があります。「SDGs（エスディージーズ）」とは、２０１５年に国連が全会一致で採択した「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、「貧困をなくす」「気候変動に具体的な対策を」「産業と技術革新の基盤をつくる」といった１７項目と、それらを達成するための具体的な１６９の目標があるようです。小泉環境大臣も背広の襟にバッジを付けています。ｅａ２１にも共通する物もあるようです。地球はみんなのものであり、同じ船に乗っている仲間なのです。日本一国だけで取り組んだとしてもどうしようもありません。経済だけで突き進むのではなくて環境に配慮して事業を進めることによって未来の人々が公害のない住みやすい社会になるように願っています。

令和元年１２月

株式会社　柏原鐵工所

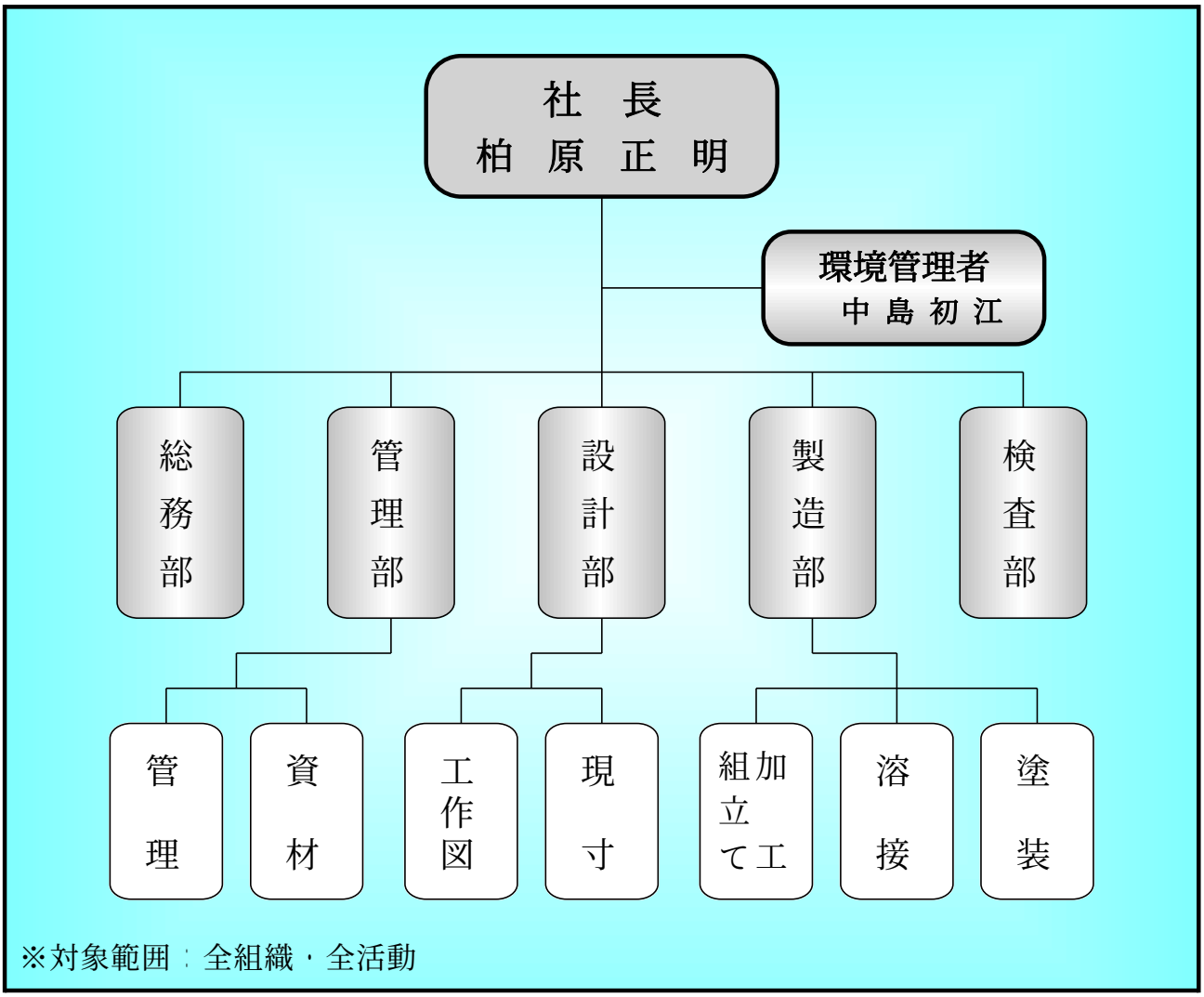
代表取締役社長　柏原正明

事業活動の概要

会社概要

事業所名 代表者名	株式会社　柏原鐵工所 代表取締役社長　柏原正明
住所・連絡先	本社・工場　〒425-0045 静岡県焼津市祢宜島124-2 大井川工場　〒421-0203 静岡県焼津市藤守2045 電話　054-624-5803 FAX　054-623-0046 web　http://e-kashiwa.com/ info@e-kashiwa.com
建設業許可	建築工事業・鋼構造物工事業 静岡県知事許可　(般－28)　第2124号 大臣認定 全構協Hグレード 認定番号 TFB H－172185
事業内容	一般住宅・共同住宅・オフィスビル・工場・店舗・耐震ブレース・その他各種鉄骨の製作及び工事
事業の規模	従業員数　31名 (令和2年10月 現在) 資本金　800万円 売上高　約5億6,940万円 (令和元年度 実績) 延べ床面積　3,580.3㎡
主要取引先 (敬称略 50音順)	臼幸産業株式会社　木下建設工業株式会社 株式会社 国都　五光建設株式会社 近藤建設工業株式会社　清水建設株式会社 瀬戸建設株式会社　第一建設株式会社 東急建設株式会社　戸田建設株式会社 日鉄物産システム建築株式会社　株式会社 橋本組 名工建設株式会社
エコアクション21	認証・登録番号　0004784 認証・登録日　平成22年3月29日 有効期間　令和 4 年3月28日 環境管理責任者　中島初江 実務担当者　中島重男 連絡先　k.kajiya@ka.tnc.ne.jp 私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です ®環境省 エコアクション21 認証番号0004784

環境管理に関する組織図



環境管理における活動体制

代　表　者	柏 原 正 明	・環境活動の目標及び計画の承認 ・環境活動全体の評価と見直し ・環境方針の策定及び改訂 ・経営資源の準備 ・経営の課題とチャンスの明確化	
環境管理責任者	中 島 初 江	・環境活動の計画立案及び実施と経営者への報告 ・環境活動の自己チェックの実施 ・環境方針及び活動計画の見直し	連絡担当者
実 務 担 当 者	中 島 重 男	・管理責任者の補佐 ・管理データの収集及び比較整理 ・『環境経営レポート』の作成	

環境方針

株式会社柏原鐵工所は、建設事業を経営していくに当り、地域との関わりを大切にし、環境に負担をかけないよう配慮し、ごみ削減及び再利用・再資源化に寄与し、また、有害化学物質の低減 を最大限に実現できるよう努力し、省資源化・省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を減らし、尚且つ経済的に成り立つ会社にして、持続可能な循環型社会づくりを目指します。
このような活動を通して地球温暖化の防止に貢献します。

活動指針

1	事業活動において、省資源化・省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減・水使用量の削減を目指す。
2	事業活動において、工場や工事現場で発生する産業廃棄物の排出削減を目指すとともに、廃棄物の収集・分別を徹底して行い、再資源化できるようにする。
3	有害化学物質の含有量が少ない塗料の推奨に努める。
4	機械設備及び備品購入の際、グリーン購入の推奨に努める。
5	５Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔・躾）活動を徹底する。 安全活動の推進に努める。
6	上記の活動を継続させるため、数値目標を設定して行い、査定・評価し、日々改善に努める。
7	事業活動において、弊社は環境関連法規制及びその他の関係法令を遵守し、環境保全に努める。
8	当社は上記活動を実施するに当り、本方針を従業員全員に周知徹底します。

改訂日：令和元年１０月１日　㈱柏原鐵工所 代表取締役 柏原正明

活動目標　(令和元年度)

弊社では環境活動レポートの基準年を当初平成20年度としましたが、年を経ることにより社会や経済状況の変化に対応しなければ比較がズレてくると考え、今回基準年を平成30年度に変更しました。そして比較項目も14項目とし基準値及び目標値を今年度の実測値と比較しました。

基準年である平成30年度の

仕事量を同等にしたうえで、毎年マイナス１％を目標値とする。

こととしました。

【基準値・目標値の設定方法】

①各年度の受注物件の増減により、目標値に対して実測値が大きく変動してしまうので単純に比較できない。そのため仕事量に直接関係のある鋼材の購入量（支給材も含む）を基準とし、その増減の割合を基準年の各データに掛け合わせ比較させます。

年　度	鋼材購入量(支給材含む)	割　合	基　準　値
平成28年度	4,304.4　t	114.3　%	←旧基準年に対する鋼材購入量の増減率
平成29年度	6,274.5　t	166.7　%	←旧基準年に対する鋼材購入量の増減率
平成30年度	4,342.7　t	100.0　%	基準年の各データ
令和元年度	4,021.6　t	92.6　%	基準年のデータに7.4％減らせた数字が基準値となる

②上記表のとおり、基準年を100％と考えると今年（令和元年度）の鋼材購入量（支給材も含む）は-7.4％となっている。よって基準年の各項目のデータの7.4％減の数値が仕事量同等数値（以下『基準値』という）という事とします。

基準年の各項目のデータの数値　×　92.6　%　=　基準値

③上記計算を行うと各データ数値は基準年と同じ水準となり、比較出来る“基準値”となる。その基準値から１％削減した数値が令和元年度の《目標値》になります。

基準年の各項目のデータの基準値　×　99.0　%　=　目標値

④これによって、令和元年度の各項目の《目標値》が出ます。この数値が【実測値】と比較出来るようになります。

この方程式を当てはめますと令和元年度の各項目の目標値は、次項の表となります。

目標設定項目　(令和元年度)

比較項目 ＼ 年度		平成30年度(2018年)	令和元年度(2019年)		令和2年度(2020)	令和3年度(2021)
		基準年	基準値 基準年 ×92.6％	目標値 基準値 ×99％	目標値 基準値 ×98％	目標値 基準値 ×97％
電力使用量	(KWh)	178,938.0	165,706.0	164,049.0	－2％	－3％
水使用量	(m^3)	353.0	326.9	323.6	－2％	－3％
コピー用紙	(kg)	493.7	457.2	452.7	－2％	－3％
化石燃料	ガソリン (L)	1,902.7	1,762.0	1,744.3	－2％	－3％
	軽油 (L)	3,265.1	3,023.7	2,993.4	－2％	－3％
産業廃棄物排出量	鉄くず (kg)	127,388.0	117,968.0	116,788.3	－2％	－3％
	ダンボール (kg)	1,000.0	926.1	916.8	－2％	－3％
	その他の資源ゴミ (kg)	4,630.0	4,287.6	4,244.7	－2％	－3％
	埋立てゴミ (kg)	5,745.0	5,320.2	5,267.0	－2％	－3％
一般廃棄物排出量	燃えるゴミ (kg)	1,500.0	1,389.1	1,375.2	－2％	－3％
	その他の資源ゴミ (kg)	879.5	814.5	806.3	－2％	－3％
有害化学物質含有量	(kg)	4,858.3	4,499.0	4,454.0	－2％	－3％
二酸化炭素排出量	(kg－CO^2)	128,655.7	119,141.9	117,950.5	－2％	－3％

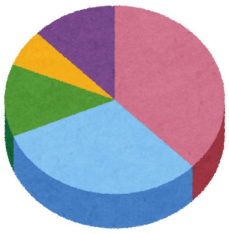
※基準年の購入電力のCO^2排出係数は 0.447kg-CO^2 / KWHを適用。
※産業廃棄物排出量･その他の資源ゴミは、木くず・廃油・プラ結束バンド・プレート型紙などを指す。
※一般廃棄物排出量･その他の資源ゴミは、新聞雑誌雑紙等の紙類・廃プラ(マーク付)・ペットボトルなどを指す。
※令和2年度以降の目標値はその年の鋼材購入量(支給材も含む) により変動します。

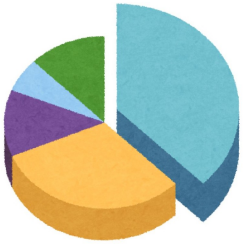
目標値について

単純に基準年と対照年度のデータを比較するのでは、その年度の仕事量によって大きく左右されるので比較するのは妥当ではないと判断しました。

この目標値の出し方は、鋼材購入量(支給材も含む) の増減が仕事量に一番影響されると考え、この増減の割合を他の項目にも反映させて基準値を設定し比較しようというものです。この目標値(基準年の実測値×増減率×99％) の方が、〈基準年の実測値×99％の値〉で比較する目標値より正確に比較出来ると考えました。

今年は、ea21ガイドライン2009年版から2017年版に変更しました。基準年も前回平成26年度でしたが、社会情勢の変化や年間の仕事量・経済の変化などもあり、今年は基準年を【平成30年度】に変更することにしました。比較項目も13項目としました。





環境活動計画　(令和元年度)

取り組み事項	取り組み内容（詳細）
仕事を円滑に効率よくするための取り組み	5Sの徹底（整理・整頓・清潔・清掃・躾）・安全活動の継続
	機械設備の定期点検・整備の徹底
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必要時の消灯・消電
	空調設備の温度設定の徹底（夏26℃以上/冬22℃以下）
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節
	照明器具・空調設備の定期的な清掃
	計画的な輸送・運搬の実現
	自動車のアイドリングストップの励行、急発進・急加速の禁止
	安全運転の為のドライブレコーダー等安全装置の導入
	自動車の定期点検・整備の励行
	省エネタイプの設備機器の継続的導入
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	廃棄物を出さないために購入時の再検討
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用
	書類等の電子化推進
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底
	3Rの徹底 Reduce（ゴミ削減）Reuse（再利用）Recycle（再資源化）
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底
	材料在庫の管理
原材料や溶接材料に関する取り組み	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス・溶接棒や塗料材等を効率よく最適な量を使用する
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害物質の含有量が少ない、または有害物質が含まれていない塗料を提案する
水道水削減の取り組み	節水に努める
	止水の確認、漏水検査
その他 環境活動の取り組み	グリーン購入
	防災訓練の実施
	地域社会における緑化運動の推進

今年度の目標・実績・評価（令和元年度）

比較項目 ＼ 年度		平成30年度（2018年） 基準年	令和元年度（2019年） 基準値 基準年×92.6％	令和元年度（2019年） 目標値 基準値×99％	令和元年度（2019年） 実測値	評価
電力使用量	(KWh)	178,938.0	165,706.0	164,049.0	142,230.0	○
水使用量	(m^3)	353.0	326.9	323.6	296.0	○
コピー用紙使用量	(kg)	493.7	457.2	452.7	439.1	○
化石燃料	ガソリン (L)	1,902.7	1,762.0	1,744.3	2,404.9	×
	軽油 (L)	3,265.1	3,023.7	2,993.4	3,571.1	×
産業廃棄物排出量	鉄くず (kg)	127,388.0	117,968.0	116,788.3	130,721.0	×
	ダンボール (kg)	1,000.0	926.1	916.8	780.0	○
	その他の資源ゴミ (kg)	4,630.0	4,287.6	4,244.7	710.0	○
	埋め立てゴミ (kg)	5,745.0	5,320.2	5,267.0	5,304.2	×
一般廃棄物排出量	燃えるゴミ (kg)	1,500.0	1,389.1	1,375.2	970.0	○
	その他の資源ゴミ (kg)	879.5	814.5	806.3	610.0	○
有害化学物質含有量	(kg)	4,858.3	4,499.0	4,454.0	3,987.2	○
二酸化炭素排出量	(kg－CO^2)	128,655.7	119,141.9	117,950.5	83,468.2	○

※基準年の購入電力のCO^2排出係数は0.447kg-CO^2/KWH、
　実測値の電力のCO^2排出係数は、日本テクノ㈱　＝　0.411kg-CO^2/KWHを、
　出光グリーンパワー㈱　＝　0.324kg-CO^2/KWHを、
　中部電力㈱　＝　0.452kg-CO^2/KWHを適用。

※産業廃棄物排出量･その他の資源ゴミは、木くず・廃油・プラ結束バンド・プレート型紙などを指す。

※一般廃棄物排出量･その他の資源ゴミは、新聞雑誌雑紙等の紙類・廃プラ（マーク付）・ペットボトルなどを指す。

評価としては･･･

　令和元年度のデータは、13項目中目標値をクリアできた項目が9項目となりました。昨年とは基準年が変わり、項目数（昨年度17項目中11項目クリア）も違うので単純比較はできませんが、昨年と同程度か少し悪くなったのかなあと思います。

　個別に見ていくと、【電力使用量】や【水使用量】･【コピー用紙使用量】が3つクリアしていますが、これは機械のエネルギー効率が良くなったのと、紙ではなく電子データでのやり取りが一段と増えました。この3つは過去の資料を見ると平成23年度から9年連続クリアしています。【化石燃料】2種がクリアできませんでした。前年度は大幅に減少しましたが今年度は少し増えました。理由としては遠方の現場（愛知・栃木）があったためと考えられます。【産業及び一般廃棄物】は6つのうち2つがクリア出来ませんでした。“鉄くず”が増加したのは、在庫の処分の他に、施工の途中で部材の変更を受け、それを処分した鋼材もあるようです。“埋め立てゴミ”は2年続けてクリア出来ていませんがこれは昨年に続き工場内の清掃や改修で廃棄物が増えたのでしょう。一般廃棄物はだいぶ減っています。これは良いことで続けていきたいです。【有害化学物質】は昨年に比べ18％減っています。これは有害化学物質含有量の少ない塗料材が使われるようになったからだと思います。うれしい限りです。来年にも期待しましょう。【二酸化炭素排出量】はこれも過去の資料を見ると9年連続でクリアしています。この項目がクリアするのが一番うれしいことです。

この続きは P16 です。

次年度目標：変更なし

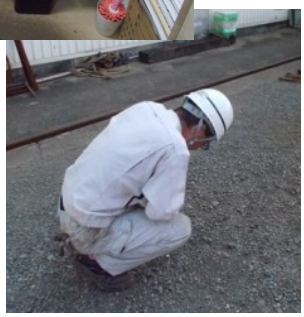
その他の環境活動

ea21に登録してから10年を超え11年目に入りました。本年度は、ガイドラインも2009年版から2017年版に変わり、基準年も変更しました。何か新しいことをやらなければと思いましたが、なかなか出来ません。年が変わってからは中国の“武漢肺炎ウイルス”によって経済活動が停滞して何も出来なくなりました。弊社でも検温・マスク着用・手洗い励行を推奨しています。少なくとも今年いっぱいは活動制限を受けるでしょう。この騒動以前に戻るのは何年先になるのでしょうか。

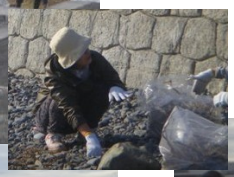
令和元年9月、今まで事務所の蛍光灯がLED化していましたが、公的補助金を受けて工場内の水銀灯を LED電球に交換する工事をしました。これで工場内の電球がほぼ全てLEDになりました。電力供給会社もより効率の良い会社に変更しました。

焼津市で毎年の恒例になってきましたシェイクアウト訓練に今年も参加しました。昨年は多忙のため実施出来ませんでしたが、今年は出来ることになりました。地震が発生した時に迅速に避難行動を取れるか、怪我を防止するための安全対策や避難経路の確認をしました。

9月26日『地震発生』の同報無線による警報を受け、事務所の中では事務員が机の下に隠れ、作業場では仕事を止めて安全な場所で姿勢を低くした体制で1分間動かない。地震の揺れが収まり火を使っている人は火を消して、周りの安全を確認しながら集合場所に集まり全員居るか人数を確認しました。その後、担当者による防災用品のチェックを行い、訓練を終わりました。



曇り空の中での11月24日恒例のビーチクリーン作戦がありました。浜当目の海岸に行きましたが、今回は地元の企業とかボーイスカウトの子供達とか団体様が居たりでたくさんの参加者が居ました。海岸には相変わらずゴミがいっぱいで流木・空き缶・ペットボトル・レジ袋等のゴミや家族で楽しんだバーベキューの残ったスミも拾い1時間ほど行いました。亀トイレの前にはゴミ袋の山が出来、市役所の方々がゴミの分別を忙しくしていました。



今年度の“グリーン購入”で主要な対象商品をリストアップしてみました。大部分文房具類です。前年は54品目でしたが、今年度は43品目となり少し減りました。これらはグリーン購入対象商品・エコマーク認定商品・リサイクル商品です。

商　品　名	用　途	メーカー	購入先
レールクリヤーホルダーPET A4縦 5冊	クリアファイル	コクヨ	カウネット
フラットファイル樹脂とじ具 A4縦　緑 10冊	ファイルとじ	カウネット	カウネット
リパックトナー CT201089 イエロー	プリンタ用トナー		ケイティケイ
テプラ PROテープ　白ラベル 36mm 黒文字	ラベル印字	㈱キングジム	カウネット
関数電卓　数字自然表示 FX-JP500-N	電子卓上計算機	カシオ計算機	カウネット
工事写真帳 Lスペア再生 (A-L6W)	写真帳	フジカラー	MonotaRO
リパックトナー CT202459 ブラック	プリンタ用トナー		ケイティケイ
リサイクルインク JIT E506PZ (IC6CL50用)	インクジェット	ジット	ケイティケイ
今治ブランド　のし掛け　御年賀タオル 5枚入×	タオル	㈱東進	カウネット
Time P@CK専用タイムカード (4欄印字)	タイムカード	アマノ	MonotaRO
マッキーケアー極細詰め替えタイプ	マジック　赤	ゼブラ	MonotaRO
ベリーシャ楽　残芯少量 3.0mm以下	シャープペンシル	三菱鉛筆	MonotaRO
再生トイレットペーパーS100m 12個入×3	トイレットペー	カウネット	カウネット
ダストレスチョーク	マーキング	日本理化学	MonotaRO
携帯おにぎり	食品	尾西食品	MonotaRO
蛍コート 80	マーカー	トンボ鉛筆	MonotaRO
エコミュアラビックヤマト スタンダード	のり	ヤマト (事務	MonotaRO
バインダーMPクロス貼 B5 縦26穴 200枚収容	帳簿	コクヨ	カウネット
スラリ 0.7mm 黒10本 BN11-BK×10 業務用	ボールペン	ゼブラ	カウネット
消えいろピット XS×5 PT-XSC×5	消し	トンボ鉛筆	カウネット

今年度の活動評価　(令和元年度)

取り組み事項	取り組み内容（詳細）	評価	次年度
仕事を円滑に効率よくするための取り組み	5Sの徹底（整理・整頓・清潔・清掃・躾）・安全活動の継続	△	継続
	機械設備の定期点検・整備の徹底	○	継続
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具のLED化、蛍光灯その他電化製品の不必要時の消灯・消電	○	継続
	空調設備の温度設定の徹底（夏26℃以上/冬22℃以下）	△	継続
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節	○	継続
	照明器具・空調設備の定期的な清掃	△	継続
	計画的な輸送・運搬の実現	○	継続
	自動車のアイドリングストップの励行、急発進・急加速の禁止	×	継続
	安全運転の為のドライブレコーダー等安全装置の導入	○	継続
	自動車の定期点検・整備の励行	○	継続
	省エネタイプの設備機器の継続的導入	△	継続
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	廃棄物を出さないために購入時の再検討	△	継続
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用	○	継続
	書類等の電子化推進	○	継続
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底	△	継続
	3Rの徹底　Reduce（ゴミ削減）Reuse（再利用）Recycle（再資源化）	×	継続
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底	○	継続
	材料在庫の管理	○	継続
原材料や溶接材料に関する取り組み	原材料や溶接加工時に使用する炭酸ガス・酸素ガス・アセチレンガス・溶接棒や塗料材等を効率よく最適な量を使用する	○	継続
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害化学物質の含有量が少ない、または有害化学物質が含まれていない塗料を提案する	○	継続
水道水削減の取り組み	節水に努める	○	継続
	止水の確認、漏水検査	△	継続
その他 環境活動の取り組み	グリーン購入	○	継続
	防災訓練の実施	○	継続
	地域社会における緑化運動の推進	△	継続

該当環境関連法規、訴訟の有無

法律名	該当する要求	該当整備・項目	届け出先・報告先	評価項目	評価
建築基準法	・建築基準の遵守 ・建築工事業の許可	・設計・施工 ・工事業 ・工場	静岡県 国土交通省	許可期限	○
				認定期限	○
廃棄物処理法	《一般廃棄物》 ・一般廃棄物収集業者許可確認	・紙くず ・木くず その他	なし	許可業者	○
	《産業廃棄物》 ・産業廃棄物委託業者との契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守 60cm×60cm以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理 マニフェストの集計、報告	・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ	マニフェストの期限内返却ない場合 ・・・・・・・・知事へ報告 前年度の交付状況 ・・・・・・・・知事へ報告	契約書 許可書	○
				マニフェスト管理	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	・管理責任者の設置 ・処理の委託先の実地確認とその記録の保存	・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ その他	不適正な処理が行われた場合 ・・・・・・・・知事へ報告	委託業者	○
騒音規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
振動規制法	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・コンプレッサー ・油圧機・切断機	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例	・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守	・ボール盤 ・研磨機 ・ショットブラスト	焼津市	新設・変更	○
				基準の遵守	○
浄化槽法	・浄化槽の設置 ・変更の届け出 ・法定点検	・分離式 バッキ方式 ２０人	新設・変更の場合 ・・・・・・知事へ届け出	新設・変更	○
				点検 １回／３ヶ月	○
消防法	・指定可燃物の届け出 (指定数量の１/５以上)	・塗料 2,000kg	焼津消防署	新規・変更	○
高圧ガス保安法	・アセチレンガス 0.2メガパスカル以上 ・酸素ガス １メガパスカル以上江 ・液化炭酸ガス	・アセチレンガス	静岡県省庁 ・・・・・・知事へ届け出	許可期限	○
				保安基準	○
建設リサイクル法	・建設副産物 鉄、コンクリート　他	・対象建設工事 ・解体建設工事	静岡県省庁 ・・・・・・・・知事へ報告	マニフェスト管理	○
PRTR法	・有害化学物質管理	・キシレン、トルエン、鉛	静岡県省庁 ・・・・・・知事へ届け出	許可期限	○
フロン排出抑制法	・冷凍空調機器 全ての第一種特定機器が対象	・自社に於いて簡易点検実施 (３ヶ月に１度以上)	企業・法人の管理者が確認		○

遵守評価日：令和２年10月31日

法規制の遵守評価の結果、逸脱は有りませんでした。

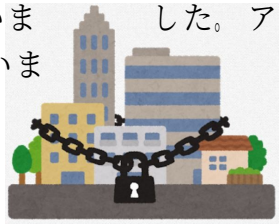
過去３年間、当事業所における業務上関係のある法令及び条例違反、地域住民利害関係者からの訴訟及び苦情はありません。

地震、火災等による緊急時対応マニュアル

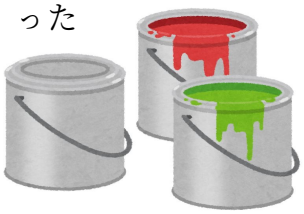
1. 適用範囲	鉄工場敷地内（工場、事務所、資材置き場　他）
2. 目的	予防処置、発生時の処置を定め、汚染拡大を防止する。
3. 予防措置	①工場内及び作業中は“禁煙”とする。（休憩時間に指定場所でのみ喫煙） ②指定場所には消火器を設置し、法定点検を厳守する。 ③工場内等で火気を使用する場合は周りを片付け、燃えやすい物がないか安全を確かめてから実施すること。 ④重量物を保管する場合はあまり高く積み上げない事。 やむを得ず積み上げるときは、荷崩れしないような対策を講じておく事。 ⑤５Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔・躾）の徹底。
4. 緊急時の対応 （地震・火災）	地震、火災等が発生した場合、人命を第一に行動すること。 ①緊急時、人が倒れていた場合は安全な場所まで移動させる。 ②意識の有無を確認。無かった場合は声をかける、肩をたたく等の刺激を与えて、反応を確認（体をゆすったり、動かしたりしない）。 ③大声で周りの人に応援要請し、消防に通報、気道の確保、人工呼吸を行う。 ④外出血、特に大出血を認めた場合は直ちに止血の処置を行う。
《地震の場合》	①激震等の緊急事態が発生したら、安全な場所への一次避難を実施する。 ②地震がおさまったら主電源を切ること。二次避難の実施。 ③安全なことを確認の後、保管品の状態確認。 ④保管品の飛散状態を確認し、液体物での漏れ等で水質や土壌汚染が考えられる場合は大声で周りの人に応援要請する。 ⑤液体物での漏れ等が確認されれば、直ちにウエス等で周囲を囲い、流失拡大の防止に努める。 ⑥安全管理責任者に報告し、その後の処置を仰ぐ。 ⑦津波警報が発令された場合は、大事なものだけを持ち、４階現寸場へ全員避難する。
《火災の場合》	①火災等の緊急事態が発生したら大声で周りの人に通報。その後構内放送で応援要請する。危険と判断したら即座に非難する。 ②応援要請を受けたものは直ちに消防へ連絡し、消火活動にあたる。 ③対応不可能と判断した場合は、直ちに消防へ連絡し、消火活動を続行する。危険と感じたら即座に避難を開始する。 ④消防管理者に報告し、その後の処置を仰ぐ。
5. 緊急連絡網	緊急時の緊急連絡網は別紙あり。
6. 防災訓練	実施日：令和元年９月26日　焼津市主催のシェイクアウト訓練に参加。 火災報知機や消火器の法定点検の実施。

代表者による評価と見直し・指示

昨年の10月、国民のほとんどが反対する中消費税８％から10％に上げて経済にブレーキを掛けました。色々な景気刺激策を講じていましたが、上向かない中で中国で武漢肺炎ウイルスが発生、初期の対応の不手際で徐々に世界に広がり、今年３～４月頃には日本を含めアジア各国、欧州、ロシア、北米、南米で猛威を振るいました。アフリカ大陸は医療体制が整ってなくはっきりした状況が分かっていません。これによって人の移動・物の移動がほとんどゼロになり、経済はリーマンショック以上の大打撃を受けました。政府は国民全員に１０万円を配ったり、企業には持続化給付金を出したり、『GO TO ○○○』といった特定の産業に補助金を出して景気を刺激していますがどうなるのでしょうか。安倍首相から菅義偉（すがよしひで）首相に代わり不透明感が増しています。



今年度はガイドラインが『2017年版』になり、基準年も変更した為正確には比較できませんが９/13クリアしたことは良かったことではないかと思います。電気や水・コピー用紙が連続して削減出来たことはうれしいことです。これからも続くことを願っています。化石燃料二つがダメだったのは残念です。鉄くずも多くなっていますがこれも一過性のものであるため今後の推移を見守りたいと思います。今年度で一番うれしかったことは、塗料材と有害化学物質との関係です。塗料材は前年度より増加しているのに有害化学物質が減少している事です。これはすごい事だと思います。長年の懸案だった事が良い方向に向かっています。受注先の会社の仕様変更によるものですがこの方針は今後も継続されると思います。



今年度の評価は、良い事あり・悪い事あり、で昨年同様の『△ もう少し努力しましょう』ということになります。

来年度のea21の活動は、政省令の変更により、金属アーク溶接作業時に発生する粒子状物質（溶接ヒューム）が特定化学物質（管理第２類物質）として位置づけられるようになるため、新たな取組みとして溶接棒の有害化学物質のデータを取らなければなりません。又、今年度成績の悪かった化石燃料や産業廃棄物の削減も努力していこうと思います。方針・計画は変更なく続けたいと思います。

代表者による指示としては、環境経営方針・目標・計画・実施体制は継続とします。

来年度も目標値を下回るように更なる努力・協力を従業員にお願いし、協力会社様にも同様な対応をして頂くように、会社一丸となって持続可能な循環型社会の構築を目指していこうと思います。これからもよろしくお願い致します。

令和２年12月

株式会社　柏原鐵工所
代表取締役社長　柏原正明

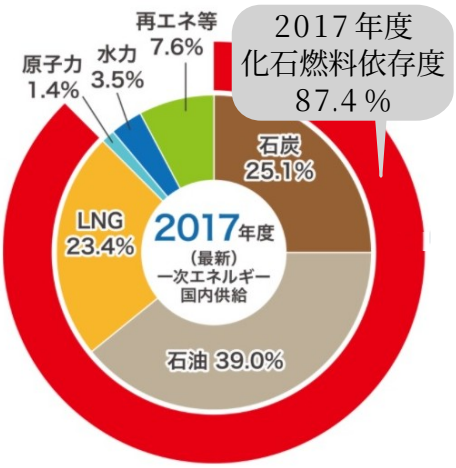
来年度に向けて

P9 からの続きです。

【グリーン購入】は比較項目に入っていませんが、昨年よりも購入品が少し減って43品目となりました。事務用品がほとんどですが、工場内の機械設備にも対象品があったら購入に向けて検討してほしいです。

今年度は13項目中9項目クリアしました。今年度は公的補助金を受けて工場内の水銀灯のLED化を実施し、電力供給会社も6ヶ月後から変更しました。これでCO2排出量ももっと減少することになるでしょう。又、塗料の支給材も支給会社に更に有害化学物質の含有量の少ない塗料に変更してもらえるようにお願いしたいです。来年度、どのような結果になるのか期待したいと思います。

近年ずっと感じているのですが(私の個人的感想です)、毎年地球の温暖化は進んでいるように感じます。私が小学生のころ(約50数年前)は、日本で一番温暖な気候である静岡の冬でも手に霜やけが出来て指が膨(ふく)らんで痒(かゆ)かったことを思い出します。今の小学生でそのような子供を見かける事はありません。一方夏は連日30～35度を超え、こんなに暑かったのかなぁと感じます。エアコンの普及で快適に過ごせますが、これでいいのでしょうか。学者の中には、「今の地球は長い歴史の中で温暖期の時期だ。」とか「CO2排出は地球温暖化には関係ない。」とか「地球温暖化して喜ぶ国もある。」と云う人たちもいます。しかし、ここ10年間でみても明らかに台風やハリケーン・強風による被害・バッタの異常発生・最高気温を更新・海水温の上昇等々によって人の生活圏に大きな被害が出てそれに対する復旧費用も膨大(ぼうだい)な金額になっています。世界の人口も50年前に比べ33億人から70億人超と倍以上となっています。人間の生活が地球環境に影響しているのは明らかであると私は思います。40～50年前の生活に戻れと言っても無理でしょうが、CO2排出削減に向けて何か出来ることがあるのでしょうか。今年9月に発足した菅(すが)政権が所信表明演説で『2050年までに日本の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする。』と発表しました。具体的な施策はなく、本当に出来るのか、甚(はなは)だ疑問です。火力発電や原子力発電を全廃にするのか、再生可能エネルギーで全電力を賄(まかな)えるのか･･･。皆さんは左のグラフを見てどう思いますか。



ea21の活動について何か疑問・質問・意見等ありましたら担当者まで申し出てください。来年度に活かせるようにしたいと思います。

最後までお読み頂きありがとうございました。

令和2年12月

ea21 担当者より